

東白の松風

公立学校退職校長会東白川支部

発行責任者 古 張 金 一

創 刊 平成2年 8月 1日

趣味を生かして地域と密着

退職校長会東白川支部長 古張 金一



役員改選にあたり、令和 8 年度も引き続き支部長を仰せつかりました。これまでの皆様方のご支援・ご協力に感謝申し上げます。監事として長きにわたり、ご指導いただきました秋山喜久男先生、山本純先生誠にありがとうございました。副支部長の任を後輩に譲り、今度は、一会員としてご支援いただきます面川春男先生大変お世話になりました。新たに、役員となられた方々ともに、今年度の事業を推進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

4 月の県の理事会で会長は、会員数の減少を食い止めるため、80%の入会率を目指し、また教職を目指す学生を支援するため福島大学に働きかけ、さらに、県教委とも意見交換を行っています。会長自ら各地区の総会に顔を出し、地区の実態把握に努めています。我が支部も入会者の減少は、いかんともしがたいものがありますが、今年度新入会員が2名となるなど、喜ばしく思います。支部の発展のためには、懇親を深め、親睦の輪を地域全体に広めていくことも必要かと考えております。

6 月に開催された第 60 回県大会西白河では、西白河支部会員がそれぞれの特技を生かして準備・運営に努め、大会を成功裏に導きました。体験発表では、3名の会員の体験発表がありました。いずれも自分の趣味を生かした地域密着型の体験発表でした。地域と連携したり、地域の良さを、趣味を生かして広報したり、参加したりとまさに地域に根差した活動報告でした。我が支部においても、学校支援ボランティアは、大変有意義な特色ある活動であります。会員の持つ趣味や特技を生かして組織として、さらに地域の行事等に参加していくことができればと考えます。会員の皆様方の趣味・特技を生かして、地域貢献へ取り組みたいものです。本年度もご鞭撻のほどよろしくお願い申しあげまして、新年度のあいさつといたします。

令和 8 年度総会を開催

<日時> 令和 8 年 4 月 18 日(土) 10:00~14:00 <場所> 新富家会館

9:30 10:00 10:50 11:00 11:50 12:10 12:15 14:00

受 付	総 会	休 憩	研 修 会	クラブ打合せ	移 動	懇 親 会
	(50分)		(50分)	(20分)		(105分)

32名の会員の出席のもとに行われ、今年度の新入会員である藤田篤先生、令和5年度の新入会員である嘉成靖先生から挨拶がありました。今年度は役員改選があり、新役員は後掲(4ページ)のとおりです。

研修会の講師は、本会会員 奥貫洋様で、「健康寿命をいききる 私の願い」と題して講話をしていただきました。「老いの時間をどう充実させるか。」をテーマに、自分なりのライフスタイルを確立しておくこと。ひとりであっても生きられるようにしておくことが大事である。というお話をいただき、今後の私たちの生き方についてご教示をいただき、有意義な時間となりました。

引き続き、懇親会が行われました。



お帰りなさい**～「東白川の子どもたちのために」～**

棚倉町立杜川小学校 校長 菊池 呂之



令和 8 年 4 月 1 日に棚倉町立杜川小学校に着任いたしました。

2 年前に新任校長として矢吹町立三神小学校に赴任し、2 年ぶりに東白川の地に戻って参りました。東白川での学校勤務は 5 校目となりますが、毎回温かく迎えていただいた記憶しかありません。今回、4 月に開催されました「東白川郡校長協議会・東白川教頭会合同歓迎会」でも温かい歓迎の言葉をたくさんいただき、東白川に戻ってきて良かったとしみじみ感じました。

着任した杜川小学校では、着任式で代表児童から杜川小学校の良さを教えてもらい、着任した先生たちと沢山触れ合い、楽しい学校にしていきたいというメッセージをもらいました。子どもたちから温かく迎えられたことが忘れられません。「この子どもたちが安心して楽しく学べる学校にしよう」と決意を新たにしました。更には、4 月 1 日の職員会議で学校経営方針を話した時の教職員の熱い視線も忘れられません。この先生方と共に、子どもたちが夢と志を育む学校に、そして働き甲斐のある学校にしていこうと誓い、今一緒に仕事ができていることに幸せを感じています。

定年退職まではまだ年数がありますが、退職を迎えるまでこの東白川の地で教員として子どもたちのよりよい成長に携わっていきたいと考えておりますので、退職校長会東白川支部の皆様には、今後もこれまでと変わらぬご指導・ご鞭撻をくださいますようお願いいたします。

**～「棚倉中学校に赴任して」～**

棚倉町立棚倉中学校 校長 鈴木 信司

今年度より、母校である棚倉中学校でお世話になっております。東白川郡の学校勤務は、矢祭中学校と塙中学校に続き 3 度目となります。棚倉町は、私の地元であり、自宅は、棚中まで徒歩 1 ～ 2 分の距離に位置しており、さながら、校長住宅のような存在と化しております。また、父親が第 6 代校長として大変お世話になった学校でもあり、直属の上司として薫陶を受けた、柳哲雄校長先生（第 9 代）、鈴木幹男校長先生（第 10 代）、下重秀俊校長先生（第 11 代）、古張金一校長先生（第 13 代）をはじめ、退職校長会東白川支部の歴代の校長先生の皆様方が、手塩にかけ、大切にお守りになるとともに、発展を遂げられてきた学校でもあります。今まで述べてきたような、とても貴重なご縁の数々にお導きいただいたからこそ今の自分自身があるということに、棚中に赴任したことであらためて気付くことができました。そして、その時々の大先輩方のお力添えによって、ある学校での教員生活という一つの「点」同士がつながり、1 本の、かけがえのない教員生活の「線」が形成されていったことにも、思いを巡らすことができました。棚中の先生方が、いつの日か自身の教員人生を振り返ったとき、この棚中での経験が、充実した教員生活という線を形成する上で決して欠くことのできない点であったと思える棚中でありたいと思います。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新入会員紹介**尽きせぬ感謝を胸に**

藤田 篤



このたび、退職校長会東白川支部に入会いたしました藤田篤です。在職中、諸先輩方より賜りました温かいご指導とご支援に、心より深く感謝申し上げます。私が職責を全うできましたのも、先輩方が長年かけて築かれた東白川の教育の礎があったからこそと、その重みを改めて実感しております。

私の管理職としての歩みは、東白川郡内の全町村と深く関わる歳月でした。矢祭町では教育委員会勤務を通じ、教育を多角的に見る視点を学ぶとともに、地域の方々のみなぎるエネルギーを肌で感じました。初めての校長職を務めた鮫川村では、閉校という大きな節目に立ち会い、学校を支える地域の絆の温かさに触れました。塙町ではコロナ禍の3年間を過ごし、未曾有の危機における舵取りの難しさを痛感する一方で、逆境にも負けない子どもたちの力強さを教えられる日々でした。そして最後は、役職定年を迎えた棚倉町。教育の本質を問い続けるキャリア教育に触れ、特例任用校長としては母校の閉校とともに、教員生活の幕を閉じました。

振り返りますと、どの地での経験も私を育ててくれたかけがえのない財産です。この貴重な学びを胸に、今後は支部の一員として、東白川の未来を担う教育活動に、微力ながら恩返しをしてまいりたいと存じます。諸先輩方におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

県大会報告**「変化を踏まえた充実した西白河大会」**

根本 秀一

6月9日(火)各支部より約180名が参加し、白河市のシン鹿島において開催されました、

講演は、白河市建設部文化財課文化財専門研究員 鈴木功氏による「史跡小峰城跡の地震被害から復興への姿」でした。冒頭は、小峰城立地の特徴、藩の歴史、白河口の戦い、仁の心などにふれ、そして講演の中心となる被災から修復までの道のりへと話が進みました。伝統工法を選択した経緯、崩落した石一つ一つにナンバリングをし石工の方々と試行錯誤を繰り返しながらの積み上げ作業、その過程を市民に公開し愛着を持ってもらう手法の導入、熊本城や松本城修復への貢献などなど、とても興味深くうかがいました。昼食後の安達支部の日下部善己氏の「『石川弾正顕彰会』の創設と活動」、北会津支部の滝沢玲子氏の「肉眼では見えない世界に迫る」、相馬支部の高橋誠氏の「生かされた命を生きる」の各体験発表からは、それぞれが熱心に趣味や研究、活動実践に取り組まれている様子が伝わってきました。

開会式で福士寛樹県会長から、会への加入率が50%を割り込んでいることなどの現状が話されました。本大会がコンパクトで密度濃く開催された背景などをあらためて考えつつ、とても充実した大会であったことを実感しながら帰路につきました。



祝 賀 詞 < 添 田 雅 教 先 生 > 8 8 歳 昭 和 1 3 年 6 月 8 日 生

添田雅教先生の 8 8 歳の誕生日令和 8 年 6 月 8 日当日、小雨の中、塙町のご自宅を古張支部長、大越副支部長と永山庶務の 3 名でお邪魔させていただき、お孫さんの描いた絵に見守られながらお話を聞かせていただきました。

塙町出身の添田先生は、昭和 3 6 年に東洋大学を卒業後、学生時代人形劇サークルに属され、夏休み期間ボランティアで学校を回っていた縁で、5 月か

ら小学校助教諭として磐城市立小名浜小に勤務され、翌 3 7 年に四倉町立大野中に採用になり、その後渡瀬中、近津中、棚倉中、塙中。鮫川中で教頭昇任、棚倉中。渡瀬小で校長昇任、石井小で石井幼稚園長兼任、平成 1 1 年 3 月退職されました。

添田先生といえばバレーボール指導が有名ですが、驚くことに先生は運動が苦手です、たまたま 2 校目の大野中でバレーボール部の顧問になり、やる以上はということで、本で勉強して指導にあたっていたとのこと。そんなきっかけで始まったバレーボールと縁ができ、県大会準優勝以上で出場できる東北大会に 4 回も出場されたそうです。また、市町村教育委員会委嘱の国語科指導委員、県教委委嘱生徒指導委員として指導法の研究、生徒指導体制の立て直し等にあたってきたとのことでした。

今回の訪問のために、先生の足跡をわかりやすくまとめた「私の履歴書」を準備していただき、先生のお人柄を感じました。これからも長い教職経験で培った経験を、本支部のためにお聞かせくださいますようお願いいたします。今後、益々御健勝でお過ごしくくださいますようご祈念申し上げます。



令和 8 年度 役員名簿

役職名		氏 名
顧 問		萩原 照夫・下重 康仁
支 部 長		古 張 金 一
副支部長		藤 田 充・大越 憲峰
監 事		角 田 和 弘・郷 田 均
評 議 員	棚 倉	鈴木 雅人・佐藤 勝久
	鮫 川	中野喜久枝・矢吹 政徳
	塙	佐川 幸信・伊藤 弘行
幹 事	矢 祭	深谷 昇司
	庶 務	永 山 陽 一
	会 計	永 山 美 雄
	広 報	西 牧 武 美・吉 田 信 也
ボランティア		根 本 秀 一・矢 吹 政 徳
県評議員		古 張 金 一・永 山 陽 一



編 集 後 記

今年度より年 2 回の発行となりました。
今後も原稿執筆へのご協力をよろしくお
願いいたします。 (西牧・吉田)